
ベストピクチャー

まぁみん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ベストピクチャー

【Nコード】

N2452A

【作者名】

まあみん

【あらすじ】

人生を絵に賭ける画家の話です。

（前書き）

この小説は、僕の好きな歌の歌詞を小説化したものです。

僕は画家、坂の下のぼろぼろなアパートに住んでいる。家賃は・
・高くない。

この安アパートは隣のビルのせいで日が全然当たらないんだ。

僕の宝物は、灯の当たらない部屋で唯一の光、電気スタンド。

絵を描くために大切な、筆。でも、やっぱりこれが無いと絵が描けない、机。

お金も無くて、食べるものも少ない、けどそんなことも忘れて僕はひたすらに絵を描くんだ。

僕の絵は、こんな家に住んで、こんな暮らしがしたいという僕の「夢」をキャンパスに塗りたくるんだ。でも、そんなものを描いたって生活は楽にならない。そう思っ僕は涙を流すんだ。絵を描いた後はいつもため息さ。

「ねえ、僕はここで生きてるよ。まだ、大好きな絵を描いてるよ。ねえ、そこからは僕が見える？僕を認めてくれるの？」

僕は画家、坂の上のお城みたいな家に住んでるんだ。もちろん僕の家だよ。

僕の家は、雲の上のような日の当たり具合なんだ。

僕の宝物は、手に入れた「地位」「名誉」「満足感」。無くすことが怖いから僕はひたすらに絵を描いてるんだ。

「こんな風にしろ」と、筆も心も何かに縛られたままキャンパスを塗りつぶすんだ。

流す泪やため息の色で。

「ねえ、僕はどこで生きてるの？なんで絵を描くの？」

ねえ、あなたには僕が見えるの？僕を笑ってくれるの？」

僕の宝物ってなんだっけ？

思い出せずにいらついで、折ろつとした筆がこう言った気がした。

「僕はずっと見てたよ。絵が好きなんだろう？」

「ねえ、僕はここで生きてるよ。まだ絵を描いてるよ

ここからは、何が見えるの？僕が描かずにいられない景色！」

「ねえ、ほら見てくれよ！生きてるんだよ？」

だって 絵を描いてるんだぜ！？ あなたにも見えるでしょう？」

ベストピクチャー！。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2452a/>

ベストピクチャー

2011年10月2日23時12分発行